



APRIL 25.2008

No.95

# かが んが だ

Kanda

## 議会だより



No.95

総額 203億円

平成20年度予算徹底検証 ..... P2~3

委員会報告 ..... P4~7

ズバリ町政を問う(11人が質問) ..... P10~21

委員会レポート ..... P22



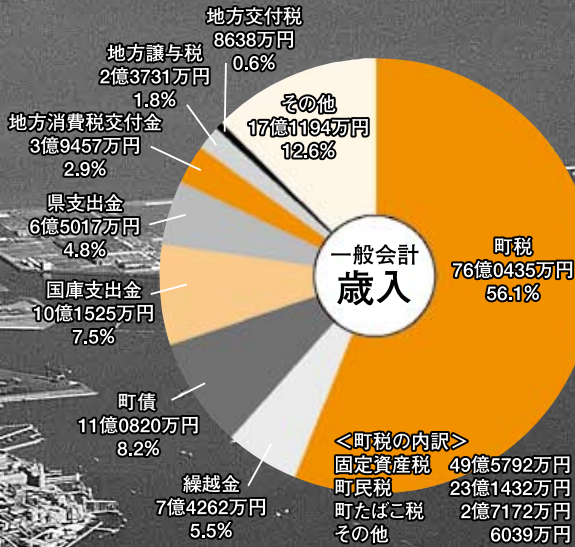
内尾薬師



# 大きな一歩

# 203億円

## 一般会計135億十特別会計68億



＜町税の内訳＞

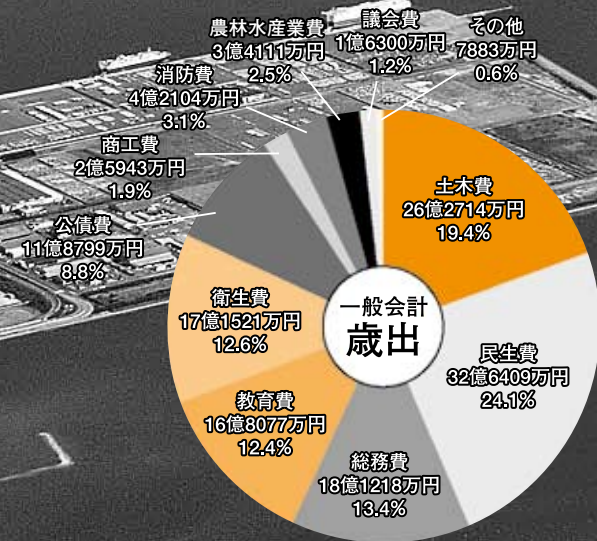
固定資産税	49億5792万円
町民税	23億1432万円
町たばこ税	2億7172万円
その他	6039万円

135億円を予算化  
(対前年度当初予算比較で1.8%の増加)

一般会計

## 育て!! 苅田町の宝 中学生まで医療無料化

3月定例会議は、平成20年度一般会計予算、特別会計予算、条例など48件、請願1件、意見書4件について審議した結果、議案48件が可決、請願は不採択、意見書案1件が可決された。



町民1人当たり  
に使われるお金 **580,713円**

**34,957人**

(平成20年3月末日現在の人口)





# 定住化に向けて

●高規格救急車購入  
3990万円

●後期高齢者医療給付費負担金  
2億4881万円

●火葬棟増築関係  
2億6689万円

●公共施設誘導サイン設置工事  
4990万円

●井場川ガード工事  
5億5300万円

●特定健康診査等事業  
4463万円

●小波瀬コミュニティセンター  
図書館増築  
4195万円

●妊婦健康診査委託  
(2回を5回に)  
1302万円



●二崎浄水場改修事業  
7億3736万円

「安全な飲料水を  
供給するための」  
事業会計





# 予算特別委員会報告

予算特別委員長

友田 敬而

## 予算編成方針

**Q** 活用されていない行政財産は極力処分するとあるが該当する土地は。

**A** 道路工事等で生じた余剰用地である。

**Q** 職員給与の時間外手当はどのようになっているか。

**A** 原則給与の3%以内としている。

**Q** 町民プール建設計画はどのように進めるのか。

**A** 議会と積極的に協議をした後に、予算執行する。

## 刈田町一般会計予算

### 総務費

**Q** 土地開発公社のあり方について。

**A** 役割は実質的には終わったとの見解で見直し会議で休止の方向で動いている。

しかし、東九州自動車道の片島岡崎用地の関係で、存続は現段階では仕方が

ない。予算は人件費と利子補てんである。

**Q** 駐在員制度と町づくり活動のあり方はどのように考えているのか。

**A** 地域コミュニティとして区の活性化を図る方向で検討していく。

### 民生費

**Q** 社会福祉協議会助成金が前年と比べ増加しているが。

**A** 職員の産休による人件費増加の為。

**Q** 地域ふれあい・支えあい事業補助金の内容は。

**A** 従来の小地域福祉活動、いきいきふれあいサロンと地域敬老事業を合体して行うものである。

### 衛生費

**Q** 夜間急患センター運営費負担金で現在の医療運営体制と利用実績はどうなっているのか。

負担金で現在の医療運営体制と利用実績はどうなっているのか。

**A** 小児科は専門医が23時まで対応。平成18年度利用実績は、1万966人、内刈田町民は1,174人となっている。

**Q** 各種予防接種委託料について前年比1000万円増だがその理由は。

**A** 国の方針により中学一年生と高校三年生に麻疹・風疹を実施、日本脳炎の実施することによる増加である。

**Q** 子どもへのインフルエンザワクチン接種補助は行えないのか。

**A** 国の予防法の枠外にあるため、補助は行えない。

**Q** がん検診委託料について現在行われている町民負担240万円は無料化できないのか。

**A** 検討してみたい。

**Q** リサイクルセンター建設に伴うペットボトル回収について地元説明会は。

**A** 3月10日より4月にかけて説明会を行い、7月よりペットボトルの分別回収をスタートさせる。

スタートさせる。

**Q** エコプラントについて経営資金安定化資金貸付金の処理は。

**A** 平成21年より次世代のゴミ処理を含めゼロベースで検討してゆく。

### 農林水産業費

**Q** 農業振興計画策定業務委託料で策定方法と有効性について。

**A** 6月頃に入札によりコンサルタントを決定し年度内に計画を策定する。

### 商工費

**Q** 中小企業振興資金融資制度のあり方について

**A** 現在の状況を精査し、今後どのようにすれば本当に借り易い融資資金になるのか検討したい。

**Q** 井場川埋め立てについて。

**A** 現在、県が行っている工事が本年3月で終了するので、町事業の埋め立て部分は県の工事中起きた補償交渉の終了後に行う。

利用計画については現在はない。産業観光、地産地消など町の活性化につながる

ような計画を立てて行きたい。

### 土木費

**Q** 白石海岸高潮対策事業について。

**A** 今年度の工事予定は550m、町負担は8%で1600万円となっている。平成23年度終了予定。

**Q** 井場川ガードJ R工事委託料について。

**A** 国の補助は1/2、工期は概ね2年を想定している。

### 教育費

**Q** 専科教員の内容は。

**A** 音楽科4名、体育科3名で行っている。

**Q** 寺小屋学校講師謝金に関して寺小屋学校の現状は。

**A** 月三回土曜日に実施している。平成19年度は約70人受講、小学校4年生から6年生の居場所確保及び学習指導を行うことを目的としている。

**Q** 小波瀬コミュニティセンター図書館増築工事の詳細は。

細は。



- A** 112㎡を予定。他の分館に比較して小さいが図書館との連携で利便性を向上させる。
- Q** 公債費の見直しについて。
- A** 利率1.3%等低利での起債借り入れに向け努力しているが、今後も検討したい。
- 菟田町国民健康保険特別会計予算**
- Q** 国保税の引き下げ、減免は出来ないか。
- A** 現状でいく。
- Q** 出産一時金の支払いについて。
- A** 申請者に1週間以内に振込むが、希望者には職員が対応し当日渡すことも出来る。
- 菟田町老人保険特別会計予算**
- 特段の意見質問なし。
- 菟田町後期高齢者医療特別会計予算**
- Q** 普通徴収者が1,100人と多いが理由は。
- A** 年金18万円未満の人だけではない。譲渡所得により特別徴収にならない人が

- るため。
- Q** 対象者への説明不足ではないか。
- A** 現在、対象者にチラシを配布している。
- 菟田町介護保険特別会計予算**
- Q** 保険の認定適用を広く出来ないか。
- A** 法律上出来ない。
- 菟田町土地区画整理事業特別会計予算**
- Q** 与原区画整理事業で新設の小中学校用地は確保されるのか。
- A** 現状では考えていない。
- 菟田町住宅新築資金等特別会計予算**
- 特段の意見質問なし。
- 菟田町菟田臨空産業団地開発事業特別会計予算**
- 特段の意見質問なし。
- 菟田町農業集落排水事業特別会計予算**
- Q** 繋ぎ込み世帯の予定数は。
- A** 現在77件138戸、平成20年度50戸予定している。

- 菟田町下水道事業会計予算**
- 特段の意見質問なし。
- 菟田町水道事業会計予算**
- Q** 二崎浄水場改修について。
- A** 今回の改修は老朽化に伴うもので、処理能力15000トンの施設である。現在日量12000トン、需要期は14000トンの使用量となっている。
- Q** 北九州市からの取水する取組みは。
- A** 緊急時の取水を想定しており、現在北九州市と交渉継続中である。



発展する菟田町



# 総務常任委員会報告

総務常任委員長

坂本東二郎

# 産業建設常任委員会報告

産業建設常任委員長

常廣 直行

・農林水産業費

Q 苅田町土地改良区補助金656万円が使われていないがなぜか。  
A 山口ダムの管理費が予算を下回ったものである。

・土木費  
Q 公園費で除草負担金の減額の内容は。  
A 除草清掃を年3回から2回に減らしたための減額である。

・平成19年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)  
・平成19年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計(第6号)  
・平成19年度苅田町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)  
・平成19年度下水道事業会計補正予算(第3号)  
・平成19年度苅田町水道事業会計補正予算(第2号)

・苅田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正  
・小波瀬コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正  
・工事請負契約の締結について

・苅田町職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
・工事請負契約の締結について

・苅田町職員の給与に関する条例の一部改正  
更(ふくおかコミュニティ無線システム整備工事)

・苅田町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正  
Q 整備費の増額の理由は何か。  
A 国の緊急情報システム(アラート)に対応するための整備と増設である。

・苅田町職員の自己啓発等休業に関する条例の制定  
Q やる気のある職員についてさらにやる気を起こさせるような制度にすべきである。

・苅田町国民健康保険税条例の一部改正  
・平成19年度苅田町一般会計補正予算(第12号)  
・平成19年度苅田町一般会計補正予算(第13号)

・徴収時期や回数についてはどうなっているのか。  
A 平成20年10月1日から6回。

・工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更(苅田町庁舎改修工事)

・苅田町総合保健福祉センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正

・苅田町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正  
・苅田町産業立地促進条例の一部改正  
Q 改正理由は何か。  
A 現在の条例を拡充するもので、他自治体と比較して遜色の無い報奨制度とするものである。

・「町内に住所を有する者を常用として」とあるが年数の要件は無いのか。  
A 要件として1年以上という条文がある。

・苅田町農業集落排水事業分担金に関する条例の一部改正  
Q つなぎこみの件数は何件か。  
A 73件程度で戸数は140件程度である。

・つなぎこみの平均負担額は。現在申請している最高額は80万から90万円である。

・今回給水区域を変更する理由は。  
A トヨタ自動車九州が進出する大字苅田地域の一部に北九州市から水道を引きたいとの要望に応えるものである。

・町道路線の認定  
・北九州市水道施設の設置に関する北九州市との協議について  
・専決処分について(平成19年度一般会計補正予算(第12号))  
・平成19年度一般会計補正予算(第13号)

・衛生費  
Q 上水道整備費について、町内の老朽管はどれくらい残っているのか。  
A 石綿管6km、老朽管8km、インロウ管2kmが残っている。

・農林水産業費  
Q 苅田町土地改良区補助金656万円が使われていないがなぜか。  
A 山口ダムの管理費が予算を下回ったものである。

・土木費  
Q 公園費で除草負担金の減額の内容は。  
A 除草清掃を年3回から2回に減らしたための減額である。

・平成19年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)  
・平成19年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計(第6号)  
・平成19年度苅田町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)  
・平成19年度下水道事業会計補正予算(第3号)  
・平成19年度苅田町水道事業会計補正予算(第2号)

・徴収時期や回数についてはどうなっているのか。  
A 平成20年10月1日から6回。

・工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更(苅田町庁舎改修工事)

・苅田町総合保健福祉センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正





# 厚生文教常任委員会報告

厚生文教常任委員長

小山 信美

・ 荻田町国民健康保険条例

の一部を改正する条例

Q 改正する条例と現行との

違いは。

A 国民健康保険法の改正により、一部負担金10分の2

が、3歳から6歳になった。

また、70歳以上の負担金が

10分の1から10分の2にな

るが平成20年度は経過措置

として10分の1とする。

・ 荻田町後期高齢者医療に

関する条例の制定

Q 保険料が高いが全国でど

の位置にあるのか。

A 保険料の高い順位

順位	都道府県名
1	神奈川県
2	東京都
3	大阪府
4	愛知県
5	埼玉県
6	福岡県

Q 医療費が高くなった背景は。

A その原因は次の3点が考えられる。

1、環境が整っている。

2、高齢者の就労が低い。

3、医療機関が相談相手になっ

ている。

・ 荻田町母子家庭等医療費

の支給に関する条例の一

部改正

・ 荻田町重度心身障害者医

療費の支給に関する条例

の一部改正

Q 変更の趣旨は。

A 4月から後期高齢者医療

制度にともない改正するも

のである。

・ 荻田町介護保険条例の一

部改正

Q 重度心身障害者の医療費

は無料だったが今後、負担

になるのではないか。

A 県が3月議会上程して

いるので、その後説明を受

けて検討する。

Q 平成20年度も継続すると

いくらかかるか。

A 影響額は約500万円で

ある。

・ 荻田町奨学資金貸付条例

の一部改正

Q 文部科学省所管の学校だ

けに限定した理由は。

A 県下や類似団体も調査は

したが文部科学省所管の学

校に限定した。

・ 平成19年度荻田町一般会

計補正予算(第13号)

Q 身体障害者福祉費相談支

援事業委託料の減額理由は。

A 指定相談所の事業認定が

遅れた事と、デイサービス

の利用回数減のため。

・ 平成19年度荻田町国民健

康保険特別会計補正予算

(第4号)

Q 特定健康診査等実施計画

策定業務委託料の減額理由

は。

A 特定保健指導の策定中で

コンサルに頼まず独自で策

定したため。

・ 平成19年度老人保健特別

会計補正予算(第4号)

・ 平成19年度荻田町介護保

険特別会計補正予算(第5

号)

Q 介護サービスの給付費の

減額の理由は。

A 予定者の減と認定者が、

1,125人で試算していた

が947人で178人減っ

たため。

・ 平成19年度荻田町学校給

食事業特別会計補正予算(第

3号)

Q 滞納について収納率は上がっ

ているか。

A 平成18年度に比べて0.2

6ポイントほど上がっている。

Q 冷凍食品の利用について

どのようになっているのか。

A 冷凍食品は卵焼き・シユ

ウマイ・魚のフライ等だが、

すべて国内品を使用してい

る。

## 議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

一般質問は6月11日・12日・13日(3日間)の予定。

《開催時間》10時~17時(予定)受付は庁舎6階まで。

問い合わせは議会事務局まで TEL 093-434-1981

3月議会は  
107人の  
傍聴者が  
ありました





# 第一回臨時会

## 意見書

意見書案第1号

割賦販売法の抜本的改正を

求める意見書(案)……………可決

送付先

衆議院議長	河野 洋平殿
参議院議長	江田 五月殿
内閣総理大臣	福田 康夫殿
経済産業大臣	甘利 明殿

意見書案第2号

道路特定財源の確保に

関する意見書(案)……………可決

送付先

衆議院議長	河野 洋平殿
参議院議長	江田 五月殿
内閣総理大臣	福田 康夫殿
総務大臣	増田 寛也殿
財務大臣	額賀福志郎殿
国土交通大臣	冬柴 鐵三殿

# 第二回定例会

## 請願書

請願第1号

就学前までの医療費完全無料化などを

求める請願について(請願書)……………不採択

意見書案第3号

子どもの医療費助成制度に、

国庫補助を求める意見書(案)……………可決

送付先

内閣総理大臣	福田 康夫殿
総務大臣	増田 寛也殿
財務大臣	額賀福志郎殿
厚生労働大臣	舩添 要一殿

意見書案第4号

線維筋痛症の難病指定の

実現を求める意見書(案)……………否決

意見書案第5号

米海兵隊員による少女暴行事件に

関する意見書(案)……………否決

意見書案第6号

保険でよい歯科医療の

実現を求める意見書(案)……………否決

選挙管理委員に

古田 功氏	魚住 聖氏
岸上 榮志氏	坂本 絹代氏

が当選決定。

選挙管理員委員補充員に

山下日出人氏	坂本佐江子氏
西村 清文氏	朝重 勝之氏

が当選決定。

# 第三回臨時会

## ●人事案件

教育委員会委員に

石村 國芳氏の選任に同意。







## 議会研修

二月十四日、志木市前市長で、現在NPO法人地方自立政策研究所理事長としてご活躍中の穂坂邦夫氏を迎え、議員全員による研修会を開催した。

地方分権の進展に伴ない、地方自治体のあり方、特に、議会の役割が大変重要となっている。今までの執行部追随型の議会運営では地方分権が真に求めている実効性ある地方自治体のあるべき姿としてふさわしいものではない。議会と執行部が互いに十分な議論を行うなかで、執行権と議決権がバランスよく機能していかなければならない時代となった。このような時代背景の中、議員全員が自身の意識のなかに、



このことをしつかりと刻みこむ為、「地方から国を変える」と言うテーマで研修を実施した。



## 空港対策

北九州空港も3月16日に開港2周年を迎えた。

昨年12月までに約230万人の航空利用者、ターミナルビルには約400万人の方が訪れており、新たな観光スポットとなっている。

管制官による北九州空港での航空管制の実施、駐機場の増設や航空貨物専用便の就航など、この2年間で空港の機能は大きな変化を遂げている。

また、中国・ロシアに定期便が就航しており、特に、香港より多くの観光客が訪れている。



空港内の特産品コーナー

苅田町の歴史を広くアピールするチャンスである。

## 生活排水対策

生活排水対策特別委員会は、以前下水道対策特別委員会の名称で設置されていたものを、下水道のみならず、農業集落排水や合併処理浄化槽などを含めた総合的な町全体の生活排水対策を自然環境や費用対効果をふくめて調

査研究し、提言する事を目的に設置されました。

1月24日に開催された特別委員会では生活排水に関わるすべての計画の現状報告が町執行部からなされた。委員からは生活排水処理基本計画全体の進捗状況について、計画の前倒しと更なるスピード

アップ、費用対効果から見た計画の見直しの提案などがあった。



下水道浄化センター



**梶原 弘子 議員** ..... 11

1. 安心して住める町づくり対策を望む
2. 軽自動車の課税免除制度を取り入れてほしい
3. 同和問題

**沖永 義樹 議員** ..... 12

1. 与原土地区画整理事業について
2. 御所山古墳（白庭神社）の整備について

**木原 洋征 議員** ..... 13

1. 国保税と後期高齢者医療制度について
2. 子育て支援と安心安全について
3. 菟田町における人づくりについて
4. 公正・公平でムダのない町づくりについて
5. 教育問題について

**尾形 均 議員** ..... 14

1. 町づくりについて
2. 地球温暖化対策について
3. 福祉について
4. 業者指名のあり方

**小山 信美 議員** ..... 15

1. フロアマネージャーの取り組みについて
2. 子育て支援の充実
3. 庁舎改修工事の進捗状況
4. 「ふるさと納税」制度について

**富安 正直 議員** ..... 16

1. 平成20年度一般会計予算案を問う
2. 菟田町の危機管理体制を問う
3. ゴミ処理を中心とした町の環境政策

**常廣 直行 議員** ..... 17

1. まちづくりの新たなランドデザイン
2. 急がれる総合的な危機管理体制の確立
3. 残されている課題

**白石 学 議員** ..... 18

1. 行政評価制度について
2. 手づくりの町づくりについて
3. 鳥獣被害防止特措法について

**友田 敬而 議員** ..... 19

1. 平成20年度予算
2. これからのまちづくりについて

**三原 茂 議員** ..... 20

1. これからのまちづくりについて

**坂本東二郎 議員** ..... 21

1. 環境問題について
2. 不交付団体としての菟田町について
3. 新年度予算と菟田町が目ざすことについて



一般質問は、  
11名が質問





梶原 弘子 議員

## Q 3億2486万円の

## こげついた貸付金の解決を

## A 最良な償還方法を求めていく

**Q** 平成18年度決算では、同 合わせて3億2485万円  
 和新築貸付金が3億248  
 6万円こげついている。昭  
 和43年から62年まで住宅で  
 450万円、住宅改修費3  
 00万円、新築資金550  
 万円を238人に総額7億  
 2643万円貸付けている。  
 昨年から施設建設課で担当  
 し1名の職員を当てて徴収  
 業務をしている。現年度の  
 滞納内訳は、67件で155  
 1万円、過年度滞納件数は  
 120件で3億934万円、

**Q** 劣悪な住宅事情を考えて、

**Q** 合わせて3億2485万円  
 もこげついている。裕福と  
 言われる荻田町でも、各種  
 の滞納金を無くすために努  
 力しているのか。

**A** 滞納理由は、債権者死亡、  
 行方不明、生活困窮、破産  
 等で法的手続きをとること  
 が本当の返済回収につなが  
 るのかどうか。一番の  
 もとは、滞納を行わせない  
 ことが目的。法的手続きは  
 時期尚早。

貸付けて来たが、借り入れ  
 後、一度も返済していない  
 人はいるのか。

**A** 2名いる。

**Q** 1000万円近く借りて  
 一度も返済していない方に  
 対して法的なことはとれな  
 いか。

**A** 2名の滞納理由は、本人  
 死亡。相続人と面談を行っ  
 ているが、現在も非常に経  
 済的に困窮な状況にある。

一切法的手段は取らないと  
 言ったが、この2名に関し  
 て検討を行う。相続人や本  
 人と接触を図り、生活や就  
 労状態も考えながら、最良  
 な償還方法を求める。

**Q** 特別扱いをするべきでな  
 い。公営住宅もあり、ぜひ  
 きちんと対応してほしい。  
 滞納している人達の中に自

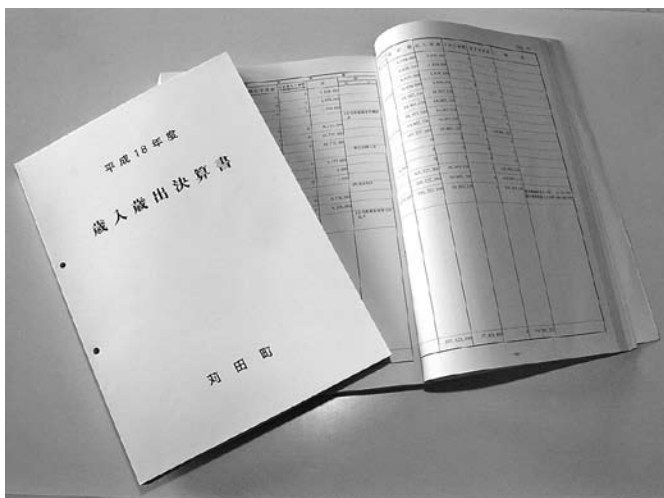
治体職員、公務員はいるのか。

**A** いない。

**Q** 担当課の努力は認めるが、  
 係だけに押しつけるのでなく、  
 町長、副町長も滞納徴収に  
 当るべき。町長の態度で町  
 民も変わると思う。

**A** 担当課の苦勞、努力は評  
 価している。直接町長が徴  
 収に行くことはないが、絶  
 えず徴収、滞納整理の会議  
 を開いて側面的な支援はし  
 ていく。

**Q** 払わなくてよいと言っ  
 うな他の滞納者にも影響が  
 ないようやっていただきたい。  
 貸付金の解決なしには真の  
 差別に対する町民の理解は  
 得られない。



## Q 与原区画整理事業の 総事業費は

### A 約57億円 (人件費を含む計画)



沖永 義樹 議員

- Q** 長い間の懸案であった、与原土地区画整理事業を着手するようになった。吉廣町長の勇気ある決断に地元議員として感謝している。事業費の概算について説明を。
- A** 国からの補助金として約13億円、保留地処分費として約12億円、町単独費として約32億円。
- Q** 区画整理での地権者の同意状況は。
- A** 地権者割で約85%、面積割で約91%の同意を得ている。
- Q** 今後測量し基本計画を作成したのち、人件費等も含め総事業費が決まる、それにとまない換地または減歩率も決まると思うが、減歩率はいくらになるか。
- A** 減歩率は、35〜40%である。



与原区画整理事業用地

- Q** 与原土地区画整理内の都市計画道路について
- A** 今度施工する40.3ヘクタール内に3本あり、10号線からの尾倉与原線に約15戸の移転等が見込まれる。



葉山池

- Q** 二先山の葉山池について、区画整理事業をすると農業用水もほとんど不要となる。与原水利組合の同意が前提だが水源確保対策として、将来二先山を公園化し、30万トンから35万トンの水を貯水できるように池を拡大する計画を立てるべきでは。
- A** 今、水資源対策プロジェクト
- Q** クトチームを組織し、検討課題とする。
- Q** 御所山古墳（白庭神社）の今後の事業計画について
- A** 御所山古墳保存管理計画策定委員会で今後の整備方針を検討し、住民の意見を聞いた上で今後の整備計画を立てる。もちろん地元住民には説明する。





木原 洋征 議員

## Q 国保税が払えない実態がある 町独自の減免が必要

### A 今後も柔軟な対応を考えていきたい

Q 町田町における人づくりについて

A 公正・公平な町づくりについて

#### 後期高齢者に医療制限

Q 政府は、後期高齢者には3つの特性がある。1つは治療が長引き複数の病気にかかっている、2つは認知症が多い、3つはいずれ死を迎える。75歳以上の人はどうせ治らないし、いずれ死ぬのだからと決め付けて医療費を削減しようとしているが、どんな影響を受けるのか。

A 複数の病名を待った方がかなりいる、総合的に見るのか。

仕組みを取り入れようというのが主な目的。

子育て支援と安心安全について

Q 保険料の徴収は、75歳以上の対象者が3,155名中2,119名が年金から天引き、1,036人の大半が所得がない。どのようにして保険料を払うのか。

A 普通徴収のうち、年金が18万円未満もしくは年金を差し押さえられている方が288人。

Q 子供のインフルエンザの予防注射への補助実現を。

A 無料化について、今後、国や県の動向を見ながら考えてい。

Q 児童館の早期設置と学童保育の延長は、早く検討をすべき。

A 空き店舗、既存の施設の利用をふくめ検討をしている、学童保育の6年生までの延長は、現在のところは考えていない。

Q 図書館は専門の正規職員による、長いスタンスでのひとつづくり、地域づくりが求められている。質の向上のために、優秀な嘱託職員は正規職員として雇用を。

A 正規職員2名、嘱託職員10名余、臨時職員が20名で最大のサービスは提供している。

Q 政治倫理条例の改定について、9月議会での町長答弁から半年が経過した。その後の経過を伺いたい。

A 執行部での検討もすでにおわっており、今後は議会とも協議を行いながら検討を重ねたい。

#### 教育問題について

Q 小中学校の普通教室における快適環境について、西日本工業大学の報告書が出たとのこと。来年度補正予算を組んでもやってくるのか。

A 早い段階で中身を検討した後、しかるべく措置をとっていきけるような状態にしたい。



学童保育

# Q 第三次前期総合計画 総括何点か

## A 進捗管理しているが よく判らない



尾形 均 議員

- Q 後期計画で人口4万人達成可能か。
- A 難しそうだ。
- Q 町づくりについて。企業誘致、新たな産業集積が必要では。
- A 県営白石、松山団地にも企業進出を働きかける。
- Q 中小企業、商店等の育成、そして融資制度等は。
- A 県の補助とともに空き店舗、賑わいづくりの補助制度にとり組む。また、県の融資制度を町民、企業に紹介する形で支える。
- Q 駅周辺整備、井場川河口開発、荏田駅特急停車交渉は。
- A 駅周辺整備は遅すぎた。井場川は県の緑地公園整備が竣工後、町の埋立て工事に入る。完成後は観光振興
- Q 計画に合わせて町民が集える拠点施設を検討する。特急停車は悲願であるが、乗降客数が五千人より増えないので難しい。
- A 第一次産業については。
- Q 外国産食の不安、自給率39%は心配。農業振興計画を策定し支援したい。
- Q 漁業では付加価値の高い商品づくりを目指してとり組んで欲しい。
- A 自然遺産は憩いの場としてはよく整備し、工場見学を含めて自然遺産と産業観光をルート化して欲しい。
- Q 与原、小波瀬地区開発
- A 与原土地区画整理事業は町の将来像からして必要。当初計画から変更があるのでは。

- A 約100haのうち40haを施工する。
- Q 白石地区、緑地帯予定地の地権者は税金面で不公平が生じてないか。
- A 先行地40haを着手し並行して考えていく。
- Q 現在、危険性のあるJR小波瀬駅前道路の整備を急いで欲しい。また、西側の開発による定住化促進にとり組むべきだ。
- Q 医療費
- A 中学生まで完全無料化できないか。また、ガン健診料も無料化できないか。
- A 受益者負担の原則をとるべき。今は無理。
- Q 大きな金額ではないので前向きに考えて欲しい。



開発が待たれるJR小波瀬西工大前駅周辺





小山 信美 議員

# Q フロアマナージャーの取り組みを

## A 平成20年4月スタート予定

Q 昨年4月に試行実施した結果による具体策は。

A 窓口担当者によるプロジェクトチームで検討した結果、住民課の職員を配置する。

Q フロアマナージャーの体制は。

A 1人か2人のローテーションで行う。

Q フロアマナージャーの役割は。

A 主に住民課の業務サポートとその他の課への案内や迷っているお客様へのサポート。



フロアマナージャー

### 子育て支援の充実

Q 貸付制度の導入については。

A 福岡県内で10数か所市町村で実施しているが、平成20年4月1日から行う受取代理制度が貸付制度に変わるものと考える。

Q 給付制度の祝い金について。

A 現在フォトフレームを渡しているが現金を出す事は考えていない。

### 庁舎改修工事の進捗状況

Q 完了工事と残っている工事について。

A 外壁工事、OAフロア工事、1階書庫設置工事、1階事務室増設工事で約7割が完成。追加工事は駐車場の街灯設備、公害環境測定

室の移設、電気設備工事、照明設備である。

Q 2階の新設された部屋の利用について。

A 相談室である。相談内容に応じて別の会場の部屋を利用する場合もあり、部屋の使い分けは考えていく。

Q 3階の屋上緑化を改修工事している理由は。

A 屋上緑化をした時、完全な防水工事をしてなかった為、今回チェックしたら雨漏りする恐れが出たので再度防水工事をやる。

Q 一度ですむ工事を再度やる事はムダではないですか。

A 精査をする時は今後の事も考えてきちんと行っていく。

### ふるさと納税制度

Q 募金型自販機の年収とその利用方法について

A 平成20年度では70万円を計上している。「花いっぱい運動」の中で活用していく。

Q ふるさと納税制度の導入と苅田町のPRについて。

A 今後、近隣市町等の動向を見て検討する。観光振興計画やその他の手段も使い、いかにPRするかが今後の課題だ。



庁舎改修工事

# Q 町民プール計画、 現状では審議出来無い

## A 事業のあり方を 今後検討していく



**富安 正直**  
議員

### 町民プール建設事業

**Q** 総事業費11億9千万円、うち町単費で11億円が見込まれ、維持費も巨額になると考えられるが、今後の計画は。

**A** 第三次荇田町総合計画などで町民プールの必要性が指摘されて以来、実現に向け取り組んできた。町内の各種団体からの意見聴取やスポーツ振興審議会の答申内容などから、すべての町民がいつでも気軽に利用でき健康増進にもつながる温水プールの建設を念頭に準備してきた。指摘のとおり、経費は有効に活用していきたい。

**Q** 資料には体育館との一体的、効率的な運用を図る、とあるが、どのように検討

したのかまだ具体的になってない。

**A** 今から検討していきたい。

**Q** 維持管理費を健康増進事業の予算も含めて予算を審議するまでに見積もりが出るのか。

**A** 年間の維持費だけで約五千万円、それ以外の事業については今後検討したい。

**Q** 現状では予算を審議できない状況でない事を指摘する。

### 国際交流のあり方

**Q** 予算案において、青少年国際交流事業補助金として589万円が計上されている。内訳は。

**A** 小学生を東南アジアに2泊3日、中学生をアメリカに一週間、引率者とともに数名程度ホームステイに派遣したい。

**Q** 現在の太平洋子ども会議の交流事業では、荇田の子

供達みんなが一緒に交流できる公益性があり、町の予算も百万円弱だ。今回の町の事業では、町内のごく限られた数名のみ、数日の期間と約5百万円の予算、公益性、効果ともに疑問だ。

**A** 教育改革の前倒し、理科の単科教員導入などに優先順位をおくべきだ。

**A** 行橋市、上毛町などでも同様の事業がある。中学生に関しては日産自動車の工場があるアメリカのキャン

トン市との交流事業も念頭にある。人数や選考方法は学校、保護者等と実行委員会を立ち上げ、検討する。

### 危機管理体制

**Q** 防災や有事の備えと共に新型インフルエンザなど新しい脅威に、どう対処するか。

**A** 平成十九年度に荇田町国民保護計画を策定した。感染症は国や県の指針に添って検討する。

**Q** 大規模な訓練も計画すべき。



町民プール建設予定地





常廣 直行 議員

## Q 継続ある財源確保の政策とは

### A 優良企業の誘致、

### 地元企業の支援を行う

国、県主導から自ら描くまちづくり

Q まちづくりの歴史は、国や県主導による大型事業に追隨して進められた。今後は、住民本意のまちづくりが必要ではないか。

A 国や県の補助金を有効に、様々な方面を充実させ、まちな発展を目指したい。

Q 公約の実現へ向け、任期中に何をどこまでやれるのか公表するべきではないか。

A 福祉、教育は力を入れ、

緊急性の高いプール建設を先行する。しかし、総合グランド建設に対する要望も強く、任期中に何らかの形にしたい。児童館は、子育て支援センターや男女共同参画女性センター、子供の居場所作りなど複合的施設を検討する。

Q プール建設や総合グランドは、公式競技が開催できるような施設が望ましく、周辺地域全体に活力や経済効果をもたらす事業で貢献するべきではないか。

A 本町の活性化や経済効果も期待でき、京築、北九州と協力しながら発展させていきたい。

Q 地域防災計画は、十年も改訂されず、三年前の福岡沖地震の教訓も反映がないのはなぜか。

A 今見直しを行っている最中で、ほぼ出来つつある。

Q 耐震調査も未実施で、震災時崩壊の可能性が高い役場に、防災対策本部を置く理由は。

A 役場を本部にする事を前提に連絡体制や設備を作っている。崩壊したら消防署で対応する。

Q 災害時は、10号線、県道25号線が緊急道路となるが、

A 調査はしていない。

Q 災害対応協定を結ぶ泉大津市からの物資は、フェリー輸送だ。荻田に耐震対策を施した港を整備するべきだと提言する。

Q 調査はしていない。

Q 周辺整備の基本構想企画書を検討している。

Q 手続き簡素化を考えている。インターネットの活用も考える。

Q 防犯灯設置と電気代は。

震災によるビルや歩道橋等の崩壊で交通障害となる箇所はないか。

Q 調査はしていない。

Q 周辺整備の基本構想企画書を検討している。

Q 手続き簡素化を考えている。インターネットの活用も考える。

Q 防犯灯設置と電気代は。

Q 蛍光灯は20ワから40ワに、電気代は1/3を補助とする。

Q 街路樹の剪定基準は。

Q 危険な状態の樹木は関係機関と協議して剪定する。

Q 街路樹の剪定基準は。

Q 危険な状態の樹木は関係機関と協議して剪定する。



廃止が待たれるJR荻田港線

### 残されている課題

Q JR荻田港線、尾倉、富久引き込み線踏み切りの廃止は。

A 一月十七日に要望書を提出。





白石 学 議員

## Q 行政評価制度について

### A 検討している

- Q 行政評価制度の1次評価、2次評価内容は、
- A 1次評価を担当課レベルで行ない、2次評価は、町全体で評価する。
- Q コンサルタントに委託するのか。
- A コンサルタントに委託することは考えていない。内部の手づくりで評価制度を構築していきたい。
- Q 事業コストについて、公表するのか。
- A 幾つかの業務については、コスト計算をして公表している。
- Q 何事業ぐらいを予定しているのか。
- A 総合計画の実施計画をベースにして、評価目標を設定できる事業を対象にしたい。
- Q 目標設定に基準は、



- Q 非常に難しい。町民にわかりやすい形で目標設定していきたい。
- Q 内部評価だけだと甘くなる。公表を徹底するのか。
- A 甘くなる可能性がある。議会、町民の皆さんにみていただき議論をすることが大事だ。
- Q 手づくりの町づくりについて
- Q 町づくり町民賞の取り組みについて。
- A 審査委員会の規定のもとに決定して感謝状とバッチを贈呈している。全ての町民につけていただきたい。

#### ※鳥獣被害防止特措法

鳥獣被害防止施策を総合的かつ効果的に実施するため、国が基本指針を策定します。基本指針に即して、市町村が被害防止計画を作成し、被害防止計画に基づく被害防止の取組を積極的に推進します。

- Q 花いっぱい運動の推進について。
- A 町民のボランティア等により、町内の道路の歩道などに花を植えて、イメージアップをはかりたい。
- Q 鳥獣特措法
- Q 本町の被害状況はどうか。
- A 人身、農作物の被害はない。猿の出没回数は増えている。群れ猿の出没がなかったため、大きな被害はなかった。



菟田臨海工業線





友田 敬而 議員

## Q 新たな街づくりの核となる産業を作る時期では

### A 皆様とともに邁進したい

Q 景観美化につながる花いっぱい運動を今後どのように行い、展開するのか。

A 道路網が整備される中、イメージアップのため歩道等に「アダプトシステム」を利用しながら花を増やして行きたい。

Q 国際交流事業をどのような目的で行うのか。今後新たな展開は考えているのか。

A 青少年国際交流事業としてアメリカへのホームステイを行う。産業観光という視点でも考えたい。

Q 無料妊婦検診の回数増に關連して町内産婦人科施設ゼロへの対応は。

A 産婦人科は町の魅力増へ大切な施設だが、現状は有効な手立てがない。

Q 大きな反響を呼んでいる中学生までの医療無料化。町長の真意は。

A 大きな意味での町づくりの基本と考えている。

Q 防犯灯と地域コミュニティとの関りをどう考えるか。



町田南原線

Q 大型防犯等の設置、電気代の補助、町田駅北側メイン通りの街路灯設置などを通して、活性化を図ってきたい。

A 法人税収に頼るわが町は、景気変動により大きく経常収支比率が変動するのでは。そのとおりである。

Q 財政状況はどうなっているのか。

A 必要ではないか。

Q 経常収支比率の推移は。

A 今後優良企業の誘致が必要ではないか。

A 算出方法が変わったため、平成一八年度は2%増になった。

### 新業態の企業誘致を

Q 町田町の弱点である若世代の男女数の偏り。町の活性化、定住化のためにも女性の雇用確保が重要では。

A 女性の就業機会、場所を多く作ることは同感である。

Q 中心市街地活性化のためにもコールセンター誘致が大切である。柔軟な発想で新たな街づくりを行うべきだ。

A 同感だ。工業、産業のみに頼るのではなくいろいろな方面から町田町の活性化を図っていききたい。

### ※アダプトシステム

アダプト(ADPT)とは、「養子縁組をする」という意味で、参加いただける団体を「里親」と呼び、公共スペース(道路)を養子のように愛情をもって清掃・美化活動をする事。

## Q 町民の血税をどのような 認識・目的のために使うのか

## A 苧田町の発展と町民の福祉と 幸せのために使っていく



三原 茂 議員

Q 政策・事業を実行する上で4点の問題がある。1点目は、主権者たる町民の思いが町づくりに反映されていない。2点目は、計画立案の際に町民参画ができていない。3点目は、説明が十分にできていない。4点目は、実施後の評価ができていない。提案ですが町づくり協議会を立ち上げて産・学・官・民の英知を集結できる体制を構築できれば、町民参画の町づくりの実現ができるのでは。

A (仮称) 観光町づくり委員会  
会で検討していきたい。

Q コミュニティバスは、平成19年度で3900万円、平成20年度で3400万円の赤字が予想される。改善策はいつまでに示すのか。

A 10月ダイヤ改正に向けて最大の努力をしている。

### 町民プール

Q 町民プール建設が総事業費約12億円で予定されている。一番危惧されるのが費用対効果が把握できているのか。

A 次に税の公平・公正さが保たれているのか。以上2点から本当に町民の強い要望事業なのか、またその根拠は。

A アンケート調査と関係団体からの事情を聞き計画を推進している。

Q 納税の主体となっている20代〜50代までのアンケートが行われていない。このような結果のもとにプール建設が審議されようとしている。正確なアンケート調査の実施は。

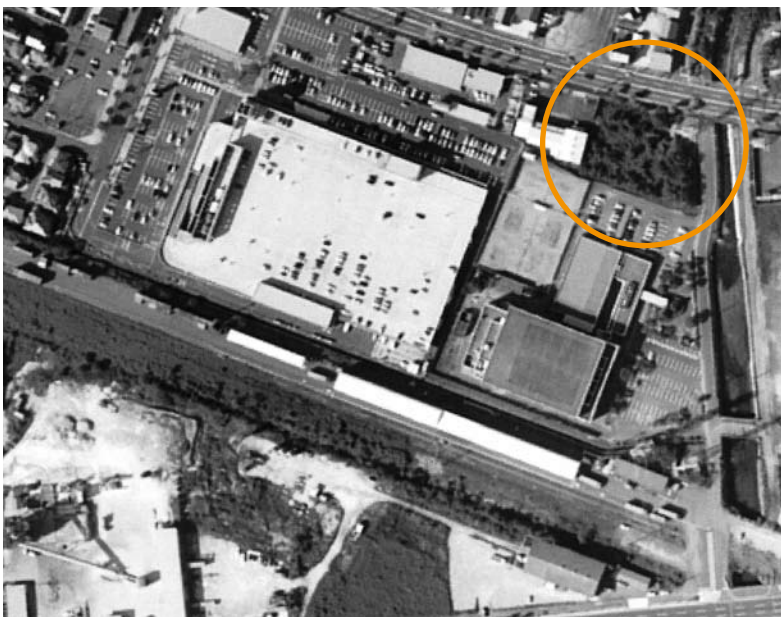
A 町民の皆様の意見を議員が代弁していると思っている。

Q 総事業費が11億9000万円、町民一人のコスト3万4000円、年間収入が1500万円、私の算定によると毎年6000万円の赤字だ。町民の意思を確認して十分な調査・準備をした上で実行するべきだ。なぜ急いでやる必要があるのか。

A 町民の健康づくりを考える上でこういう施設を考えた。

Q プールの周りには高压電線の鉄塔、河川、国道10号線がある。その対応は。

A 安全に対する対応も検討していく。



町民プール建設予定地





坂本東二郎 議員

## Q 温暖化ストップへの対応は

### A 環境未来図に示された

### 取り組みを推進する

Q 本町の温暖化対策は。

A 平成17年2月16日の京都議定書において日本は平成2年を基準年として平成20年から平成24年までの5年間で、温室効果ガスを6%削減することを目標。町民に参加を呼びかけて環境対策連絡協議会によりエコドライブの講習会を開催した。今後とも環境未来図に示された取り組みを住民、事業者、行政が力を合わせて推進す



る事により温室効果ガスの排出削減に取り組みたい。

Q 21世紀は環境の世紀。北海道洞爺湖サミットでは環

境が主要テーマである。荇田町地球温暖化対策実行計画なる小冊子が出ている。その成果は。

A 五つの目標を定めそれぞれ努力した結果、温室効果

ガス削減目標値6%のところ結果的には5.6%削減になっているが20年度に新たに引

き続き作成する事を考えている。

Q 環境教育の実践について。

A 荇田町環境副読本を各学校に配布している。生活編、地球環境編、ごみ編の3冊からなりこれを総合的な学習の時間に組み入れ環境学習において活用している。

Q 太陽と風と波をうまく活用しながら自然エネルギー

の環境教育を実行してもらいたい。

うことで他の自治体では行えない、町単独事業が可能となると思う。

Q 国、県に縛られることなく、自由に独創的な個性ある事業ができる反面、職員、住

民が豊かな意識を持ちすぎた面がある。職員の研修について自己啓発を含めもつと取り組む必要があるのでは？

A 町全体として研修については非常に留意している。成果についてもしっかりと評価して行く。

Q 事業コスト計算について、

町民に、行政サービス一件あたり「どのくらい」必要なのか知ってもらうべきだ。

A 荇田町でも救急業務についてはコスト計算をしている。一回の出動につき約4万5千円かかる。



Q 不交付団体としてのメリットは何があるのか？

A 荇田町は昭和50年から連続して不交付団体になっており、留保財源が多いとい

# 委員会研修レポート

## 総務常任委員会



及び財政運営を学び安定的な自治体経営に資することを研修の目的として、神奈川県寒川町を訪れた。

地方分権の中にあつて、後年度に負担を残さない施策で、住民福祉の向上を図るためには、積極的かつタイムリーな情報を発信することが大切である。住民との合意の上に立った特色のある町づくりが必要。委員会として議案の審査だけでなく、今何を求めているのかを感じ、提案するため、今後も調査・研究を続けていくこととした。

## 産業建設委員会

熊本県菊陽町にみる「人口増、定住化の促進」をテーマに本町の現状と比較しながら研修した。



菊陽町の事例から、定住化を効果的に進めるために重要なことは、第一に、周辺地域より突出した生活インフラを整備し、基盤を持つこと。菊陽町は公共下水道整備、その地域の情勢にあった生活道路、住宅地開発であり、本町においても何かインパクトのあるセールスポイントを持つことが望まれる。

第二に、企業誘致が人口

増加を促す大きな施策だ。本町は企業誘致の条件は比較的有利であるが、進出する企業にとっては工業用水の条件が満たされていない。住宅地開発や、生活道路の整備も不十分であり、公共下水道は比較にならない。対応を急がなくてはならない課題は多い。

## 厚生文教委員会

環境問題は全世界の問題であり、本町でもゴミの減量を検討する時期が来ているのでゴミ減量に成功している熊本県水俣市と鹿児島県志布志市を視察した。

水俣市は行政と地域住民が協働して環境首都コンテストへ参加し、好成績を残している。

ゴミ分別では22種類をステ



ション方式で行い回収されたゴミは資源の量によって地元へ還元。分別が困難な環境弱者（要介護者等）には「分別ご免状シール」を配布している。

志布志市は、28品目を広域で運営するリサイクルセンターで売却収益を上げている。また、生ごみ、草木等を堆肥化して無料で配布。73%減量に成功。本町での、今後の取組みが課題である。

本町は不交付団体として強い財政力を基礎に住民の福祉の向上に努めている。しかし本町に立地する企業は、世界経済状況に大きく左右されることが多い。自動車産業を中心とすることから先行きに不安がないとはいえない。財政力の強い現在、他自治体の行政改革



# 季節の 風景



片島小学校 入学式



善立寺保育園 春のお花見会

## 紙面一新!!

広報  
研修

### よみやすい議会報の紙面づくりに

議会広報特別委員会は、平成20年2月18日に佐賀県嬉野市を視察した。

嬉野市の編集作業はすべて電子化にし、レイアウトもち密に仕上げた状態で印刷会社に渡す等コスト削減に成功。追跡レポートやキャッチコピーもすばらしく、読者の読んでみたい紙面作りになっている。

嬉野町時代、10年連続優秀賞等を受賞。合併後も編集方針を引き継ぎ、更に他町へ視察等を行うなど意欲的にかつ勉強、努力を怠らない。すべてがここに集約されていると実感。

本町もこのような読者が読んでみたいとい

われる議会報を目指して、全委員で取り組む事が今後の課題である。



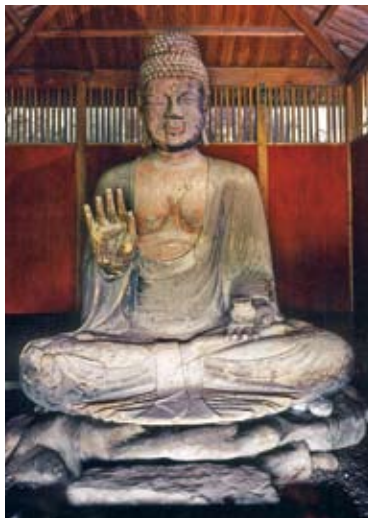
## まちの見どころ

表紙の  
写真

### 内尾薬師

大字馬場の殿川ダム北岸の鍾乳洞窟内に安置されている天台宗宝蔵院宗圓寺の本尊薬師如来像で内尾の薬師如来として地元の人々の信仰を集めている。岩盤の上に座した木造薬師如来像

の像高は275cmを測り、その大きさは仏像の基準とされる一丈六尺(丈六)サイズに相当する。江戸時代に小笠原氏の信仰が厚く、大規模な修理が行われていたが、全体に分厚く量感あふれる力強い造形は九州でも数少ない平安後期の作品である。



# 目指せ! オリンピック

## 〔新津中学校バドミントン部〕

夏の北京オリンピックに我が新津中学校の先輩である潮田玲子選手の出場が決まり、バドミントン部員一同、とても喜んでいきます。

私たち新津中バドミントン部は、男子19名・女子14名で、顧問の先生の指導の下、日々練習に頑張っています。昨年度、夏の大会では、卒業した先輩が九州大会・全国大会に出場しました。新人大会では、京築地区大会で準優勝し、県大会に出場しました。

潮田先輩は小椋選手とペアを組み、「オグシオ」と呼ばれ、いろんな大会で活躍されています。潮田先輩は中学校時代、どんなメニュー・方法で、どのくらいの時間をかけて練習してい



たのか、機会があれば是非アドバイスを受けたいと思っています。潮田先輩もオリンピックに向けて、ハードな練習の毎日だと思っていますが、是非メダルを取ってもらいたいと願っています。新津の地から応援しています。私たちも全国大会目指して頑



張りますので、応援よろしく願います。

男子部主将 平川 雄一  
女子部主将 河野 朋桃

### 議会広報特別委員会

委員長  
副委員長  
委員

井山 信修  
小原 直茂  
三原 洋行  
常原 忠明  
木谷 敬而  
榎田 純治  
友田  
山口

### あとがき

皆様お元気ですか。桜の花も散り、葉桜になってしまいました。

広報委員全員で、庁舎より石塚山の桜の移り変わりを見ながら、町民の方が読みやすい広報を目指し、「紙面一新」を合言葉に編集しました。

いかがでしょうか。議会だよりを読んでくださる町民の皆様の声をお待ちしています。

皆様の声が楽しみでもあり、紙面づくりの励みにもなります。

今後ともご愛読ください。



榎谷 忠明